

持経宿、平治宿の点検・整備

◇実施日 6月1日(日) 晴

◇参加者 沖崎吉信、湯川一郎、阪口雄二、松本吉殖、畑林秀味、梶野照雄、村吉光夫 7名

連休以後、初めての持経宿、平治宿の巡回整備となる。松本さんから「平治宿トイレの排水路工事を行う」と連絡があり、幅広の樋や塩ビパイプなどを運んだ。また、体調不良で連休の持経宿を欠席した村吉さんも復活、参加された。



走り出して10分

太い木が落ちている

奥にモノレール

午前8時過ぎ、スポーツ公園の駐車場に着くと、全員が揃っていた。8時半前に出発し、沖崎車、阪口車、村吉車の3台で持経宿を目指

す。走り出して10分ほど、直径10cm位の木が斜面から倒れて道路を塞いでいた。阪口君が鋸で切って除去。暫く落ちている石を除けながら進み、モノレールの手前で直径が60cmほどの腐った大木が法面側に落下していた。谷側は車一台が通れる広さがあり、散らばった破片や、一緒に落ちた木を切って処理した。大木は人力での移動はできず、長さも5m近くあり、小切りにするにも時間がかかりそう。この先でも数回落石を除き、やっとゲートに着いた。村道部分で倒木や落石が多かったので、ゲートから上はどうなっているか、いささか不安だったが、持経宿まではいつもと変わらずの路面状況で、スポーツ公園から1時間少々で到着した。



ベンチ組み立て

樋を運ぶ

排水路工事

持経宿到着後、持ってきた荷物を降ろし、ベンチを二つ組み立てた。2mほどの長さのパイプや樋、樋の蓋などを分担して平治宿へ運ぶ。気温が低く風が強いので、尾根筋では寒さを感じる。一時間弱で平治宿に着き、ストーブに火を入れる。トイレの排水路工事を松本さ

んらにお任せし、梶野、湯川、阪口の3人で水場の確認に向かう。



水場に到着



ホースも健在



排水路工事

途中、階段の外れたところを3か所手直しして水場に到着。水はよく流れていた。数年前に取り付けたホースもいまだ健在だが、取水口の外側に流れる水が多く、ホースの先端の水は少ない。取水口に水を集める工夫をしたい。12時過ぎに小屋に戻り、昼食を摂る。食後、帰る準備をしていたら一人の男性がやってきた。今日は行仙宿に泊まる予定だそうだ。

持経宿に戻り、在庫を確かめる。倉庫にはビール、コーラ共に無し。小屋の無人販売にビールが5本ほど残っていた。からのペットボトルやアルミ缶を集めて持ち帰った。阪口君は車にポリタンクを積んで水場へ。戻ってきて「道が均されて、きれいになってました」と報告があった。スポーツ公園までの帰り道は、車を停めることなく進み、40分で到着した。

(記：梶野)



本日の参加者



持経宿を離れる



スポーツ公園着

行動タイム

スポーツ公園駐車場 08:20→09:29 持経宿 10:03→10:57 平治宿 12:55→13:49 持経宿 14:12→14:53 スポーツ公園駐車場